

# 申請書

## 1. プロフィールシート

顔写真 この箇所に画像を貼り付けてご提出ください。なお、申請書ファイル容量を抑えるため、500kb程度以下の画像で貼り付けてください。	申請者 I D	
	(ふりがな) お名前	( )

### 食の6次産業化プロデューサーに関連する学習経歴もしくは業務経歴

**【必ずお読みください】**

**○レベル2を申請する方へ**

- ご自身の活動や取組内容、それらをとおして取得した経験、能力や実績がある場合には、その内容を下記「業務経歴及びご自身の活動プロフィール等」の箇所に**できるだけ具体的に**ご記入ください（本フォームの容量を超えてしまってもかまいません）。

※書き方：ご自身の活動や取組を行った年月と題名を入れ、ご自身がその活動や取組に対し何を行ったのかを100文字程度でご記入ください。

**○レベル3を申請する方へ**

- これまで習得してきた6次産業化や農商工連携・地域資源、食農連携、食料産業クラスターなど地域における農や食の取組に対し、ご自身の業務において実施している（してきた）事項を、下記「業務経歴及びご自身の活動プロフィール等」の箇所に**できるだけ具体的に**ご記入ください（本フォームの容量を超えてしまってもかまいません）。

※書き方：業務経歴の年月と題名を入れ、ご自身がその活動や取組に対し何を行ったのかを100文字程度でご記入ください。

**【「わかる」を受講修了した教育研修機関名】**

○○○○○○○○

年月	【業務経歴及びご自身の活動プロフィール等】
○年○月	○****による****を実施 上記の活動や取組について、ご自身が何を行ったのかについて具体的なコメント（100文字程度）
○年○月	○****による****を実施 上記の活動や取組について、ご自身が何を行ったのかについて具体的なコメント（100文字程度）

## 2. 審査項目シート

※申請書提出後、評価判定のための書類審査を実施いたします。その参考としてできる限り下記の項目にその概略をご記入ください。

◆レベル2の場合：自身が育成プログラムをとおして習得した内容、もしくは、習得したスキルを自身の業務でどのように実践しているか（実践することができるか）

◆レベル3の場合：習得したスキルを自身の業務でどのように実践しているか（実践することができるか）

### 【ご記入にあたっての注意事項（必ずお読みください）】

注意1：ご記入はすべて整理された文章で行ってください。以下、申請書全体を含め図表の挿入は行わないでください。

<p>(1) ご自身の能力や実績を示す代表的な活動名（地域）</p>	<p>【業務経歴等】に記した事項がある場合には、その中で代表的なものを一つ選択してご記入ください。</p>
<p>(2) 実践した(できる)内容</p>	<p>上記(1)で記したものに対し、ご自身が実施してきた内容を具体的にご記入ください。</p>
<p>(3) ご自身の役割</p>	<p>該当するものに✓をつけてください。</p> <p><input type="checkbox"/> 事業主・法人スタッフ（生産者・事業者・従事者とも）</p> <p><input type="checkbox"/> 支援スタッフ（コンサルタント等）</p> <p>・「わかる」を受講修了された方、または既に「わかる」を取得されている方は、受講修了したプログラムの種類（レベル2「わかる：事業主」やレベル3「わかる：支援スタッフ」など）に応じチェックを行ってください。なお、ご自身が受講修了した「わかる」の種別がわからない場合には、受講されたプログラムの実施機関にお問い合わせください。</p>

## 【個人の能力及び実績】

<p>下記に示した評価指標を参考に、学習した事項や業務をとおした経験等について該当する <u>具体的な内容をわかりやすい文章で記載してください。</u> *文字数は評価指標ごとに 200 文字以内。</p> <p>注意：レベルに応じた「<u>必須</u>」の箇所は必ずご回答ください。ご回答されていない場合には、審査に必要な条件を満たしていないと判断され、申請いただいても <u>レベルの評価判定は行いません</u>。レベル3で「支援スタッフ」を選択された方は、下記「*レベル3 支援スタッフ」の箇所も必須となりますので、ご記入の際にご注意ください。</p>		記入必須 レベル
① -1 (15点) 商品・サービスの開発 (商品化・サービス化)	1) 商品・サービスを開発する場合、どのような方法で企画・設計・開発を行う必要があるか (人、もの、金、戦略等の重要性) について整理して記載してください。 〔記入欄〕	レベル2 レベル3
	2) 商品やサービスの開発にあたり自身や自分達の連携体・枠組みの強み (内部環境) をどのような方法・手法で分析するか (分析方法や検討手法について記載)。 〔記入欄〕	レベル2 レベル3
	3) 商品やサービス等の想定される市場の規模や成長性はどのような方法・手法で想定・検討するか (分析方法や検討手法について記載)。 〔記入欄〕	レベル3
	4) 商品やサービスを開発する場合、最終消費者の利用シーンはどのような方法・手法で想定するか (分析方法や検討手法について記載)。 〔記入欄〕	レベル3
	5) 競合相手に対する競争優位性 (外部環境) について、どのような方法や手法で判断を行うか (分析方法や検討手法について記載)。 〔記入欄〕	
	6) 取組や活動、商品やサービスの損益分岐点をどのような方法で計算するか。 〔記入欄〕	
① -2 (5点) 商品・サービスの開発 (多角化等)	1) 商品やサービスを発展的に展開する上で、その活動をどのように広げるか (深めるか)、その方法について記載してください。 〔記入欄〕	レベル3
	2) 上記の展開を進める中で、連携する各事業者に対し、経営上のメリットを創出するための方法や手法について記載してください。 〔記入欄〕	
	3) その活動を発展させてゆくためには具体的に何を行えば良いか。 〔記入欄〕	
② -1 (15点) 販路開拓・プロモーション (新規販路の開拓・拡充)	1) 6次産業化や食農連携で開発する商品の販路として考えられるものを、販路の特性等に応じ整理して列挙してください。 〔記入欄〕	レベル2 レベル3
	2) 取組や活動により開発した商品を展開するために、上記で列挙した販路のうち、どのような方法で販路を選択するか。また、その相手先へのアプローチはどのような方法があるか。 〔記入欄〕	レベル2 レベル3

	3) 取組や活動により開発した商品のサプライチェーン（商流・物流・情報流）について、どのような方法、考えで現在のフローを構築したか（しているか）。また、そのフローは効率的かつ効果的な方法であるか。	
	〔記入欄〕	
② -2 (5点) 販路開拓・プロモーション（メディア等への情報発信）	1) 取組や活動により開発した商品やサービスを、最終消費者に認知させるための手段は、どのようなものが考えられるか。その種類と効果について記載してください。	レベル3
	〔記入欄〕	
	2) 取組や活動により開発した商品やサービスを、最終消費者に体験させるための手段は、どのような方法が考えられるか。その種類と効果について記してください。	
	〔記入欄〕	
	3) 商品やサービスの評判を把握する手段は、どのような方法が考えられるか。	
	〔記入欄〕	
③ -1 (15点) 連携・コーディネート（生産・加工・流通の連携や一体化、異業種との連携）	1) 取組や活動を推進する連携体や枠組みを推進・発展させるために、どのような人的ネットワークを構築しているか。	レベル3
	〔記入欄〕	
	2) 取組や活動を推進する連携体や枠組みにおいて、相手の能力を活かすためにはどのような方法があるか（リーダーシップやマネジメントの観点から記載してください）。	レベル2 レベル3
	〔記入欄〕	
	3) 取組や活動を推進する連携体や枠組みにおいて、連携事業者間の付加価値配分はどのように行うべきか。	レベル3
	〔記入欄〕	
	4) 連携体や枠組みで発生した課題を解決するため、どのような手段があるか。利害関係者の意見調整の際に、自身はどのような役割を果たすことができるか。	*レベル3 支援スタッフ
	〔記入欄〕	
	5) 連携体や枠組みの活動がとん挫しそうになった場合（商品の売れ行きが伸び悩む等）、どのような方法をもって軌道修正を講じることができるか。また、そのような状況から脱出するために、連携体や枠組み全体のモチベーションを向上させることができるか。	*レベル3 支援スタッフ
	〔記入欄〕	
③ -2 (5点) 連携・コーディネート（地域活性化への貢献）	1) 6次産業化や食農連携の取組や活動を推進することで、どのように地域に寄与できると思うか。また、自身では食や農をとおした地域活性化のために何ができるか（何を行いたい）か。	レベル2 レベル3
	〔記入欄〕	
	2) 商品やサービスの成功、連携等による取組や活動の推進による地域への <u>経済的</u> な波及効果は、どのような方法でシミュレートできるか。	
	〔記入欄〕	

	3) 商品やサービスの成功、連携等による取組や活動を推進することで、地域への <u>非経済的</u> な波及効果をどのようにシミュレーションできるか。	
	〔記入欄〕	
	4) 地域活性化のために本業とは直接的には関係のない活動は行っているか。	
	〔記入欄〕	
<p>* レベル2～3では下記の実績はないことと思われませんが、もし、実績がある場合には、実績の起点（年月）を明らかにし現在までの継続的に実施されている状況について、具体的な数値等を用いて記入してください。例えば、過去に支援事業等で実施したものの現在何も行っていないなどの事例は、評価の対象にはなりません。</p> <p>* また、記入した数値の根拠を「(別紙4)実績記入シート」に記載し提出してください。</p>		
④ (20点) その他のアピール ポイント	1) 当該商品の成功により連携事業者のいずれかが新たな人材を雇用できる(した)。	
	〔記入欄〕	
	2) 当該商品を通じて、便益創出・雇用創出以外の社会貢献を企図している(した)。	
	〔記入欄〕	
⑤ (20点) 事業成果	1) 当該商品の売上げは伸びている。	
	〔記入欄〕	
	2) 当該商品により全連携事業者が利益を確保できている。	
	〔記入欄〕	

【合否判定基準】

- レベル2：合計点が20点以上で必須の評価指標すべての回答が行われていること
- レベル3：合計点が40点以上で必須の評価指標すべての回答が行われていること

## 実績記入シート

レベル2～3では「④その他のアピールポイント」「⑤事業成果」を記載しない場合、このシートは必要ありません。

<p>-ご注意事項-</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 申請書に記載した事例の実績について、下記の表に記載した項目に従い内容をご記入ください。</li> <li>■ なお、<u>ご記入いただきました事業者様等につきましては、認定審査段階に内容確認のためのご連絡をさせていただきます場合もございます。</u>あらかじめご理解願います。</li> </ul>		<p>申請者 I D</p> <p>(ふりがな) お名前</p> <p>( )</p>			
<p>以下の箇所については、①生産者や事業者の方の場合、ご自身および連携された相手の内容について記入してください。②コンサルタントなど主にコーディネートを行った実績の場合には、その支援業務により発生した実績について各事業者等へのヒアリングを行い、その結果を記載していただき、実績との関わりやコーディネートの実施年数、受益者とのコンサルティング契約の有無などについて「その他の事項」欄にご記入ください。</p>					
区分	事業者名* <sup>1</sup>	所在地 (市町村まで で結構です)	TEL	当該事項で 創出した 雇用者数* <sup>2</sup>	当該事項で創出 した 売上高* <sup>3</sup>
生産者	〇〇〇〇	東京都港区	00-0000-0000	00名	000万円
製造業者					
流通業者					
その他					
<p>その他の事項</p> <p>取組や活動により開発した商品やサービスを通じて、便益創出・雇用創出以外の社会貢献を企図していることはありますか(したことはありますか)。</p>		<p>分かりやすい文章で記載してください。</p>			

\*1：事業者名には株式会社、有限会社、農事組合法人などの事業形態名をご記入する必要はありません。

\*2：雇用者数は、「④その他のアピールポイント」の1)に記載した事項で創出した数をご記入ください。なお福利厚生を事業者として支払うものであれば正職員以外(パート・アルバイト等)でも可とします。

\*3：売上高は、「⑤事業成果」の1)に記載した事項の直近の実績をご記入ください。